

# 茅(かや)の響きあい教育 プランの実現に向けて

茅ヶ崎市長 添田 高明 氏



## 教育随想

岡崎市と茅ヶ崎市とは、徳川家康公やその家臣との歴史的由緒を認識し、更に理解と親善を深めるため、産業、教育、文化、スポーツ、観光等あらゆる分野にわたる交流を促進し、住民福祉の向上と相互の発展を願い、昭和五十八年に「ゆかりのまち」として協定を締結いたしました。

本市では、平成九年度に生涯学習プランとして「ちがさき・まなびプラン」を策定しました。学校教育については、その個別プランである「茅(かや)の響きあい教育プラン」の実現に向けて努力しております。

この茅の響きあい教育プランは、これからの教育に向けて、茅



平成13年12月1日

# 12月号

発行・編集  
岡崎市教育委員会

### 今月の紙面

教育随想	1
茅ヶ崎市長 添田 高明氏	
この人に聞く	2
永谷 準一氏	
羅針盤	2
国語科指導員 野々山こず江	
ふれあい	3
福岡小 村平 美江	
福岡中 麻場ちとせ	
特集	4
生命・財産を守る消防署	
お知らせ	6
フォト・ヒストリー	8
青少年赤十字への加盟 (昭和55年)	
この本を	8



ケ崎市の教育風土に基づき、学校・家庭・地域で、子ども・教職員・保護者・地域の人々が共に学びあい育てあうことを市民全体で実現することを目的として位置付けております。

茅ヶ崎市は、南は相模灘に面し、温暖で風光明媚な環境を有する市です。学校教育では、このような地域の環境を生かした教育活動の創造に取り組んでいます。

茅ヶ崎の子どもたちが、郷土の

自然や文化を愛することによって、自分のまわりに住む人々に心をひらき、共に助け合える人間に成長してほしいと願っております。

ゆかりのまちであります岡崎市は、市制八十五周年をお迎えになりました。謹んで慶祝の意を伝えさせていただきますとともに、ますますの貴市のご発展を祈念いたします。私の随想とさせていただきます。(そえだ たかあき)

ふるさとシリーズ  
この人に聞く



鳩レース三河連合会顧問  
西日本大会総合優勝

永谷 準一 氏

鳩レースに魅せられて二十年。この間に西日本大会では三回の優勝、東海地区では六回の優勝を勝ち取られた永谷さんを訪ねた。

鳩レースは、距離によってレース区分があり、一〇〇キロメートルから一二〇〇キロメートルまで九種類のレースがある。レースでは、スタート地点で役員が放った鳩をひたすら自宅で待つ。そして、特別な機械で分速を出して、その速さを競う。

レースに勝つための秘策を、永谷さんはこう語った。



「卵を産ませてからレースに参加させたり、雌を鳩舎に残して雄だけ参加させるなど、帰巢本能を高めることが大切です。しかし、それぞれの鳥によってどのやり方が効果があるかは違います。また、鳥によって、中距離が向くのか長距離が向いているのかを見極める必要があります。つまり、鳥によってそれぞれの個性や特性に違いがあるので、それを引き出すことが大切です。」

鳩の個性や特性を引き出すという点は、長年この道に携わっているからこそ言える言葉である。日常の訓練や世話は、  
「朝晩、一時間くらい放して飛ばす訓練をします。スピードが落ちて

いる場合は、花火をあげて刺激を与えます。また、レースが近づいてくると、段階的に訓練の内容やえさの種類も変えていきます。そして、体重の重い鳩は、自宅から六十キロメートルくらいのところまで連れて行き放してやります。」  
とのことである。永谷さんの口調からは、鳩レースにかける意気込みが伝わってくる。

最後に、今の子供たちへの思いをお聞きした。

「子供たちには、動物の世話をする体験をもっとしてほしいです。そうすることで、優しい心と命の大切さを学ぶことができるからです。」

鳩レースは、自分がするのではなく、鳩にさせるところに体調維持などの難しさがある。鳩を触っただけで状態が分かると言う永谷さんの言葉には、鳩にかける深い愛情と情熱が伝わってくる。

帰り際に空を見上げると、永谷さんが手塩にかけた訓練中の鳩が元気に飛び交っていた。

氏 名 ながや じゅんいち  
生年月日 昭和二十五年五月十六日  
住 所 大門二丁目二十一五

国語科の役割を明確にした授業

国語科指導員

野々山 こず江



来年度からの「総合的な学習の時間」の本格的な実施に伴い、国語科の担う責任は、ますます重要性を増す。「報告する」という活動自体は総合的な学習で実践するが、報告する上での効果的な方法などは国語科で教えるべき技能だからである。

A 小学校の三年生は、こうした国語科としての役割を意識した発表会の授業を行った。地元のお祭りやしめ縄作り、珍しい行事などを取材し、さまざまな方法で報告するというものである。豊富な学習素材、協力的な地域の方々という恵まれた環境の下、子供たちは直接交渉して取材活動を行い、発表会の準備を進めた。

取材に協力してくださった方々を法被姿でお迎えしての本番。声量、速さなど発表するときの注意点を、発表の仕方や内容についての視点を示

## ハッピーバースデー

福岡小 村平 美江

「先生、明日はA子ちゃんの誕生日だから、パーティー給食するよね。」

前日からクラスの子供たちは、わたしに念を押し、心待ちにしている。パーティー給食とは、クラスのみんなで机を輪の形に並べ、向き合つて食べる給食のことである。クラスのだれかが表彰を受けたり、誕生日だったるとき、その子を祝いがらみみんなで楽しむ。

A子が上座に座り、給食の準備が整った。盛り上げ役のB男の音頭で三十人のバースデーソングの大合唱。勝ち気なA子に、日ごろ憎まれ口をたたいている男の子たちも、このときばかりはまなざしが柔らかくなる。

給食の最後に、十一歳になつた感想をA子にインタビューしてみた。



「今朝お母さんが、『もう今年はケーキを買って祝いはいらないからね』と言いました。寂しいけど、お母さんは仕事で帰りが遅いんだし、仕方ないなと思いました。だけど、今日はみんなのおかげで心に残る十一歳のお誕生日になりました。本当にありがとう。」

ぴよこんと頭を下げるA子。心待ちにしていた誕生日の朝、我慢したことがあったんだね。そこには一回り成長したA子の姿があった。



## 「のんちゃん先生」との出会いを夢見て

福岡中 麻場ちとせ

「先生、今日の授業も『のんちゃんの宝石箱』見られるよね。」

と、A男の弾む声。歌の苦手な彼が、音楽の授業の中であつて見せたことのない、やる気に満ちた顔だ。

学区在住のお箏の先生と、インターネットを通じて質問のやりとりや調べ学習をさせて頂いた。それが、

『のんちゃん宝石箱』である。

A男は、いろいろなところをクリックするたびに飛び出してくる音色や映像に、感激の連続。

調べ学習の中で、江戸時代に活躍した「けんきょう検校」と称する多くの演奏家のだれもが盲人であることに素朴な疑問を抱いた彼は、ネット上でのんちゃん先生に質問を送った。

「A男君、いいところに気づきましたね。お箏を弾く人に盲目の人が多いのはね、江戸時代お箏の指導者になることが、数少ない自立への道だったのですよ。」

先生からの優しく分かりやすい返事を頂いて、まだ見ぬのんちゃん先生への期待が、彼の中でどんどん膨らんでいった。

研究授業の当日、本物ののんちゃん先生の生演奏と個別指導に、今まででいちばん輝くA男のひとみを見た。



した「聞くポイントカード」の書き方などを確認して、いよいよ発表。ポスター、パンフレットの手法を選択したグループは参考資料を示し、どこを生かしたかを伝えてから発表に移る。放送番組グループはビデオ作品を研究し、撮影もすべて自分たちで行ったという。

発表会として意識させるべき事項を丁寧を押さえた授業は、消極的だと担任が心配した子供までが堂々と発表することにつながり、満足感を味わえたものとなった。聞き手の意識と手だてにずれがあったという反省はあるものの、基礎・基本を身につかせようとの教師の願いは、十分に子供たちに通じていた。

発表形式の授業では、ともすると発表内容に重きが置かれ、機器を多用した華やかな発表が繰り返されがちである。しかし、この授業のように、教師が子供の心に寄り添いながらも、本時でどのような力をつけたいのかというねらいを明確にもち、それを実現させていく手だてを講ずることを私たちは忘れてはいけない。基本を大切に、次の活動に生きる力をつけていこうとの教師の姿勢は、子供たちに確実な力をつけ、次への大きな飛躍となることだろう。





▲ 通信指令室

# 生命・財産を守る消防署

岡崎市役所の東側、市のほぼ中心に位置する岡崎市消防本部。常時二十人以上が詰め、いつ起こるかわからない火災・災害に二十四時間体制で備えている。

まず、目に入るのは、はしご車・電源照明車・タンク車・化学車・高発泡車・救助工作車などの消防自動車。最新の消防車は、一気に二百四十メートルものホースを伸ばすことができるホースカーやボタン一つで放水方向や圧力を操作できる放水銃なども積載している。ドアなどの鉄板を押し広げるスプレッターや巨大カッターの救助器具等は、見学に訪れる小学生にも見ごたえ十分である。

消防本部には、毎年多くの子供たちが訪れる。平成十二年度には、小学校二十校・中学校三校が社会科学習・職場体験に来ている。学校側の依頼で出向いたことも六十一件あり、初期消火・放水・避難・通報・心肺蘇生法など、各種訓練を指導している。起震車による地震体験も学校側の要望が高まっている訓練の一つである。

三階にある通信指令室に入ると、まず百二十インチの大型スクリーンが目に入る。岡崎市全図はもとより住宅地図レベルの縮尺まで瞬時に映し出される。その並びには車両運用表示盤。管内すべての消防車や救急車が、どこで何をしているか一目で分かる。米国防省が管理する人工衛星か



▲ ホース運搬体験（広幡小）



▲ 40m最新鋭はしご車



▲ 消火器による訓練（緑丘小）



◀ 「防火ポスター」優秀作品（平成十三年度）



▲ ホースカー

らGPS信号（緯度・経度・時間）を受信することにより正確な位置を認識している。

また、ナビゲーションが三十三台の車に搭載され、そこから現在位置及び動態がスクリーンに表示される。この画期的な通信指令システムが、迅速かつ的確な指示を可能にし、消火・救助活動に大いに威力を発揮している。いざ通報が入ると、瞬時にどこからかかかってきたか地図で映し出され、場所が特定されるさまは圧巻である。

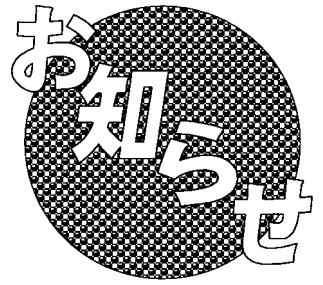
寒くなり、空気も乾燥しやすい季節の到来である。子供の防火ポスターや標語もあちこちで見かける今日このごろ。火災ゼロをめざして、二十四時間、消防署員の地道な努力が続いている。



▲ 放水銃（円内）とその実演（上地小）



▲ カッター（左）とスプレッター（岩津小）



● 教育最新情報

○ 学習評価のこれから

平成十二年に教育課程審議会は、平成十四年度から完全実施される新学習指導要領下での評価のあり方を述べている。これからの教育では、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成、国民として必要とされる基礎的・基本的な内容を重視し、個性を生かす教育の充実を図ることが重視されている。評価も同様に、関心・意欲・態度、思考力、判断力、表現力の子ども一人一人の可能性を積極的に評価し、個人がその可能性を發揮して自己実現できるようにする評価が重視されることになった。

した評価（絶対評価）及び児童生徒の良い点や可能性、進歩の状況などを評価する個人内評価を柱とし、その中で、集団に準拠した評価（相対評価）も目的に応じて指導に生かすことが必要となる。指導要録もこの立場で改訂され、各教科の観点別評価は、「関心・意欲・態度」「思考・判断」「表現・技能」「知識・理解」を今まで通り絶対評価し、その目標実現の状況を判断するとともに、各教科の評定も絶対評価（小学校三段階・中学校五段階）で行う。



小学校の段階表示

- ・十分満足……………3
- ・おおむね満足……………2
- ・努力を要する……………1

中学校必須教科

- ・十分満足……………5
- （内、特に高い程度……………4
- ・十分満足……………3
- ・おおむね満足……………2
- ・努力を要する……………1
- ・一層努力を要する……………1

■ 岡崎市教育委員決定

委員長	杉浦 壽康
委員	鈴木 聰一
委員	寺部 暁
同職務代理者	仲井 さち
教育長	藤井 孝弘



また、新設された「総合的な学習の時間」の評価は、各学校で定めた「学習活動」「観点」に基づいて文章記述により評価することになる。さて、元来評価は、学習や指導の改善に役立たせるべきものである。それゆえ評価方法として①総合的な評価に分析的な評価や記述的评价を加える②学習後だけでなく、学習前や学習の過程も評価する③学期末や学年末だけでなく単元ごとや時間ごとの評価もする④ペーパーテストの他、観察や面接、質問紙、作品、ノート、レポートなどを組み合わせた評価をする⑤児童生徒による自己評価、相互評価

保護者や地域の協力者による評価結果も参考にするなど、各学校や教師が努力しなくてはならない。そこには、「観点別評価規準の設定や判定」「情意面の評価」「観点別評価と評定の関連」など、解決されるべき課題が多く残っている。岡崎市においては、評価委員会が新指導要領に対応した通知票やその記載の手引きを作成している。すでに小学校改訂通知票が作成され、本年度中には中学校の新通知表が示されるので、その表記や記述内容の理解に努めたい。（参考）学習評価基本ハンドブック

● ハートピア岡崎だより

○ 「中学生日記」に出演

中学二年男子A君は、NHK総合（十月七日）、同教育（十月十四日）放映の「中学生日記」に出演した。

A君は、平成十二年十一月の終わりからハートピア岡崎に通い始めた。彼はさまざまなストレスから、心身ともに通学に耐えられなくなっていた。そこで、目標を心身を強くすることに決め、ハートピア岡崎には交通機関と徒歩で通所し、主として卓球やサイクリングで、まずは体力をつけることから始めた。

彼は、一日置きに母親と一緒に電車とタクシーで通うことからスタートしたが、近ごろでは、学校、時々ハートピア岡崎というところまで来た。A君の再登校に向けての挑戦は決してなだらかな道程ではなかった。しかし、今の彼の学校復帰は目前である。この「中学生日記」の第三部は、彼の家庭とハートピア岡崎での生活を描いている。



● ニューポート使節団報告



テロ事件の影響から渡米を検討し、ニューポート親善訪問が実施された。

空港のセキュリティチェックの厳しさを除けば、ニューポートビーチ市は、穏やかで人間味あふれる場所だった。

訪問した学校コロナ・デール・マーでは、授業の履修カリキュラムが一人一人異なり、能力に見合ったクラスが編成されていた。また、下校後、生徒は、ボランテニア活動に積極的に参加していた。

生徒会活動も生徒会費をねん出するところから自主性が発揮されていて、感心した。

多くの方々に温かく迎えられる充実した十日間を過ごすことができた。(北中 太田)

● 表彰

◆平成十三年度全国自作視聴覚教材コンクール(中学校部門)

●文部科学大臣賞(最優秀賞)「変わりゆく川の生態系」

服部(東海中) 松坂(矢北中) 柴田(六南小) 吉田(童海中) 杉浦(北野小) 山口(常東小)

●入選

「A HERO FROM OKAZAKI」  
「間接疑問文」

●松坂屋賞  
●FBC県秋花壇  
●六ツ美中部小学校

●松坂屋賞  
●FBC県秋花壇  
●六ツ美中部小学校

第40回岡崎市小学校陸上競技大会

種目	優勝	優	勝	時間
5年・100m	男	永井 秀也	六美北	14"2
	女	志賀 紀世	竜美丘	14"5
100m	男	高村 諒	大門	13"1
	女	西村 悠	竜美丘	14"0
80mハードル	男	山村 涼	城南	12"7
	女	池田 明由	大樹寺	13"0
1000m	男	藤井 延幸	藤川	3'09"2
	女	奥村 千明	上地	3'28"0
走り幅跳び	男	山田修一朗	竜美丘	4m63
	女	市川 絢菜	矢作東	4m31
走り高跳び	男	利国 翔	城南	1m43
	女	稲葉生恭子	本宿	1m35
ソフトボール投	男	緋田 裕太	六美北	71m10
	女	高塚可奈子	大樹寺	49m62
4×100mR	男	山本・金松 梅村・田淵	岩津	55"6
	女	柴田・小幡 池田・市川	大樹寺	56"0

●団体総合成績

	優勝	2位	3位
男子	大門	岩津	梅園
女子	大樹寺	竜美丘	三島

第34回岡崎市中学校新人総合体育大会

種目	優勝	2位	3位
陸上競技	男	東海	矢作北
	女	矢作北	六ツ美
バスケットボール	男	竜南	附属
	女	竜海	竜南
バレーボール	男	矢作北	竜南
	女	竜南	矢作北
ソフトテニス	男	城北	北
	女	福岡	矢作北
卓球	男	城北	六ツ美北
	女	矢作	六ツ美北
体操競技	男	東海	竜海
	女	南	竜海
剣道	男	六ツ美北	南
	女	六ツ美北	矢作北
ハンドボール	男	葵	六ツ美
	女	六ツ美北	美川
軟式野球	男	竜南	美川
	女	矢作	甲山
ソフトボール	男	六ツ美北	甲山
	女	甲山	矢作北
サッカー	男	竜南	甲山
	女	竜海	矢作北
水泳	男	竜海	矢作北
	女	竜海	矢作北

第45回愛知県統計グラフコンクール

(◎は全国コンクール特選、○は入選)

小学校1・2年の部 金賞

吉田英里佳	矢作東小	2年
勝盛 優弥	連尺小	1年
南場航太朗		

小学校3・4年の部 金賞

○木下ゆり子	竜美丘小	4年
小原 章裕	矢作東小	4年
森下 藍	矢作東小	4年
堀 文香	矢作東小	3年
太田 瑞希	矢作東小	4年

小学校5・6年の部 金賞

○倉地 真衣	竜美丘小	5年
朝倉 舞	竜美丘小	6年
○鈴木佑理恵	竜美丘小	6年
岩月 香衣		
◎山下 梓	竜美丘小	6年
杉浦 静香		

中学生の部 金賞

○松井友里恵	竜海中	2年
朝倉由香理	竜海中	2年
鈴木 里奈	城北中	2年
○山下恵理奈	竜海中	1年

パソコンの部 金賞

高田 理江	竜美丘小	5年
○井上 リサ	羽根小	4年
後藤 沙織		
山中さゆ紀		

◆非行防止ポスター  
●県知事賞  
城北中 一年 松島 里佳

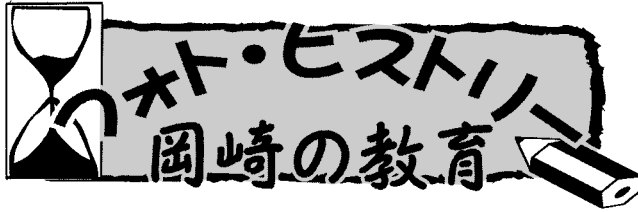
◆第四十九回統計グラフ全国コンクール(第三部特選)  
竜美丘小 六年 山下 梓  
杉浦 静香

◆第十回東海地区読書ゆうびんコンテスト  
●学校推進賞 緑丘小学校

●優良賞(小学校高学年)  
竜美丘小 六年 見並 克俊  
◆第四十四回中部日本吹奏楽コンクール(中学校の部)  
●準優勝 岩津中学校  
◆第五回東海小学校バンドフェスティバル  
●優秀賞 竜美丘小学校  
●第五十四回全日本合唱コンクール全国大会

●金賞 六ツ美北中学校  
◆第三十六回親と子の作文コンクール  
●優秀賞 六善塾 三年 牧原ゆう太  
細川小 五年 山本 健二  
訂正 十一月号  
新人水泳競技  
女子総合三位 北中

・カ  
ツ  
ト  
  
城北中 中島純一



## 青少年赤十字への加盟 (昭和55年)

写真は昭和五十五年、香山中（当時）が奥殿小と合同で行った青少年赤十字活動報告会の様子である。香山中は、昭和三十八年、奥殿小と共に同活動に加盟した。以来、学区清掃奉仕活動やササユリ保護活動、一円玉募金など地道な活動を実践してきた。

岡崎市では、昭和二十六年に常磐南小の一年生が、青少年赤十字に加盟したのが最初である。昭和五十二年、五十四年の両年で、全小中学校が加盟した。



写真提供 新香山中学校

# この本を

- \*私の伊能ウォーク574日 畑中 一一 現代書館 ￥2000
- \*子どもの社会力 門脇 厚司 岩波新書 ￥660
- \*世界でいちばん受けたい授業 藤原 和博 小学館 ￥1600
- \*「自分の木」の下で 大江健三郎 朝日新聞社 ￥1200

- \*最期の贈り物 中島久美子 学陽書房 ￥1600

確実に到来する超高齢化社会。今、介護や老いに対しては、だれもが無関心ではられない。

朝日新聞の「絵本と私」欄を担当しており、フリーライターとして活躍中の著者。年月をかけて入念に取材して執筆されている。介護疲れから家族関係が崩壊していく様には悲壮感がある。しかし、介護という切羽詰まった出来事を通して、家族一人一人がそれぞれに成長していく様子に触れるにつけ、高齢化社会を生きる私たちに、希望と勇気を与えてくれる。

奥殿や六ツ美地区のイルミネーションが輝き始める十二月。二十一世紀最初の年も、残すところあと一か月となった。

国内外で心を痛める事件が続いた一年であったが、年末くらいは、静かに除夜の鐘を聞きたいものである。来年が良き年になることを願って。

# シオ スア

市内の小中学校では、危機管理対応マニュアルが見直された。日常の安全確保や事故発生時の対応策などが検討されて、具体的に実施されている。

「開かれた学校」にするためにも、いっそう地域と連携をし、子供の安全確保を図っていきたい。

朝の冷え込みが増すなか、軽快な曲に乗って校庭に集まり準備運動を始める子供たち。今日も元気に耐寒駆け足だ。

後半は個に応じたペースで走り切る。体力向上はもろろん、苦しさに負けない心、最後まで頑張り通す心を培ってほしいと切に願う。

スピードを追い求め、鳩レースに情熱を注ぐ永谷さんの姿には、男のロマンを感じる。日本一という夢の実現に向けて、三百羽にも及ぶ鳩の世話や訓練が今日も続く。

充実した人生を送るには、夢や生きがいを持つことが近道である。